【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公表番号】特表2020-511843(P2020-511843A)
【公表日】令和2年4月16日(2020.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-015
【出願番号】特願2019-551392(P2019-551392)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　92/10　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　88/08　(2009.01)
Ｈ０４Ｌ　27/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　92/10
Ｈ０４Ｗ　88/08
Ｈ０４Ｌ　27/26　１００

【手続補正書】
【提出日】令和3年2月5日(2021.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ワイヤレス通信のための方法であって、
セルに関連付けられたユーザ機器のタイプを基地局によって識別するステップと、
前記ユーザ機器の前記タイプに少なくとも部分的に基づいて、前記セルのチャネル用の処理方式を前記基地局によって識別するステップであって、
前記処理方式が、第1のタイプのユーザ機器によって処理可能かつ第2のタイプのユーザ機器によって処理不可能である第1の処理方式、または前記第1のタイプのユーザ機器および前記第2のタイプのユーザ機器によって処理可能である第2の処理方式から識別され、
前記処理方式が、前記チャネルに適用されるスクランブリングシーケンスまたは回転シーケンスに関係する、ステップと、
前記処理方式を識別することに少なくとも部分的に基づく前記処理方式を使用して処理された前記チャネルを、前記基地局によって送信するステップと
を備える方法。
【請求項２】
前記ユーザ機器の前記タイプが、前記ユーザ機器から受信される能力指示に少なくとも部分的に基づいて識別される、請求項1に記載の方法。
【請求項３】
前記能力指示が、前記ユーザ機器のリリースバージョンを識別する、請求項2に記載の方法。
【請求項４】
前記処理方式に対応する処理方式指示が、前記セルの前記ユーザ機器に提供される、請求項1に記載の方法。
【請求項５】
前記処理方式指示が、無線リソース制御再構成メッセージを使用してシグナリングされる、請求項4に記載の方法。

【請求項６】
前記チャネルが第1のチャンネルであり、送信する前記ステップが、
第1の処理方式指示を第1のユーザ機器に提供することに少なくとも部分的に基づいて、前記第1の処理方式を使用して処理された第1のチャネルを前記第1のタイプの前記第1のユーザ機器へ送信するステップを含む、または
前記チャネルが第2のチャネルであり、送信する前記ステップが、
第2の処理方式指示を第2のユーザ機器に提供することに少なくとも部分的に基づいて、前記第2の処理方式を使用して処理された第2のチャネルを前記第2のタイプの前記第2のユーザ機器へ送信するステップを含む、
請求項1に記載の方法。
【請求項７】
前記ユーザ機器の前記タイプが、受信された構成メッセージまたは能力メッセージに少なくとも部分的に基づいて識別される、請求項1に記載の方法。
【請求項８】
前記処理方式の前記識別が、キャリアのタイプに少なくとも部分的に基づき、
前記キャリアの前記タイプが、前記第1のタイプのユーザ機器に関連し前記第2のタイプのユーザ機器には関連しないか、または前記第1のタイプのユーザ機器および前記第2のタイプのユーザ機器に関連する、
請求項1に記載の方法。
【請求項９】
前記キャリアの前記タイプがアンカーキャリアである、請求項8に記載の方法。
【請求項１０】
前記キャリアの前記タイプがページング用またはランダムアクセス用の非アンカーキャリアである、請求項8に記載の方法。
【請求項１１】
前記処理方式が、前記チャネルのタイプに少なくとも部分的に基づいて識別される、請求項1に記載の方法。
【請求項１２】
ワイヤレス通信のための装置であって、
セルに関連付けられたユーザ機器のタイプを識別するための手段と、
前記ユーザ機器の前記タイプに少なくとも部分的に基づいて、前記セルのチャネル用の処理方式を識別するための手段であって、
前記処理方式が、第1のタイプのユーザ機器によって処理可能かつ第2のタイプのユーザ機器によって処理不可能である第1の処理方式、または前記第1のタイプのユーザ機器および前記第2のタイプのユーザ機器によって処理可能である第2の処理方式から識別され、
前記処理方式が、前記チャネルに適用されるスクランブリングシーケンスまたは回転シーケンスに関係する、手段と、
前記処理方式を識別することに少なくとも部分的に基づく前記処理方式を使用して処理された前記チャネルを送信するための手段と
を備える装置。
【請求項１３】
ワイヤレス通信のための命令を記録するコンピュータ可読記録媒体であって、前記命令が、
デバイスの1つまたは複数のプロセッサによって実行されたときに、請求項1から11のうちのいずれか一項に記載の方法を前記1つまたは複数のプロセッサに実行させる1つまたは複数の命令
を含む、コンピュータ可読記録媒体。